

1974年

No. 2

No. 1

本之24



3

春の一日

鈴木敏幸

うららかな春の日の一日です

桜の花も咲いていいます

空を飛ぶ鳥もいっしょに舞っています

あんなに美しい風景を眺めるのは、

あんなに楽しいです。直に襲う天敵を避ける為とも

されまます。改行

それでもうリユウリヒウヒウと

飛ぶのようです

決して酔っぱらってはいけません

あの豆つぶも水さず蜂の頭にも

それほりの神威なるものか、納められているので

それに比して人族の頭の大きさ

神なるぞ、テリカミといっしょに、しくたにし、しま

何を考えているのでしよう

ただに先を急ぐこと

時として新型の爆弾を考案しては

得意になつたりもしています

ツメ